

取扱説明書

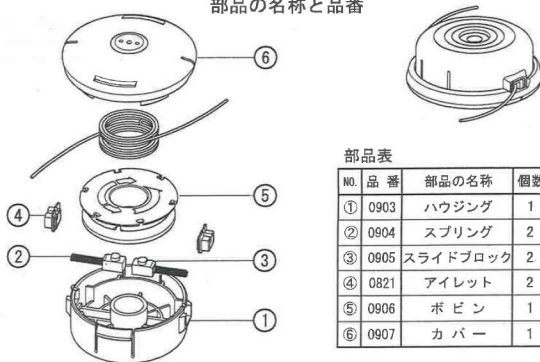
全自動コード繰出し式ナイロンカッター

1144

草刈コードが自動的に
デルカル
コードが自動で出るフルオート式

この度は、「デルカル」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
「デルカル」は草刈中自動的にコードが繰り出されますが、お客様
様の刈払機の性能以上にコードが出すぎることはありません。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読み頂いて、正しい操作
と点検を充分ご理解され、機能を最大限に活用し、快適な作業を
して頂くようお願い申し上げます。

部品の名称と品番



部品表

NO.	品 番	部品の名称	個数
①	0903	ハウジング	1
②	0904	スプリング	2
③	0905	スライドブロック	2
④	0821	アイレット	2
⑤	0906	ボビン	1
⑥	0907	カバ ー	1

正しくお使いいただくために

【ご使用になる前に】

- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり製品の機能と取扱い上の注意事項を充分ご理解下さい。
- 本製品は、地表の雑草を刈るカッターです。それ以外の用途（木材の切断や樹皮込みの剪定など）に使用しないで下さい。
- この取扱説明書の内容が理解できない人や子供には、絶対に使わせないで下さい。
- 他の人に貸す場合はこの取扱説明書の内容を説明するがこの取扱説明書を一緒にお渡し下さい。
- この取扱説明書は、いつでも必要に応じて見る事ができるように、大切に保管して下さい。
- ご使用の刈払機の取扱説明書に記載の注意事項も、必ず守って下さい。



【毎作業前の注意事項】

- ①作業中の各種飛散物から身を守るために・・・
●「長そで」、「長ズボン」を着用して下さい。
●ヘルメット・保護メガネ・保護手袋・保護長靴・すね当て等の保護具を着用して下さい。
●刈払機には適切な位置に、必ず「飛散防護カバー」を装着して下さい。
- ②カッター本体の破損・分解・飛散を防止するために・・・
●ハウジングの保持爪の外周縁がカバーの窓の外周縁まで、ほぼいっぱいには広がっていることを確認してください。
●カバーの摩耗度合いを点検して下さい。
●底部の金属部が無くなった時、目印溝が消えたら必ず「新しい部品」と交換して下さい。
●カッター本体のカケやヒビ割れを点検して下さい。
●カケやヒビ割れのある部品は、必ず「新しい部品」と交換して下さい。
- 刈払機とカッターの取付けを点検し、緩んでいれば取付ボルト（又はナット）を締め直して、しっかり固着して下さい。
- カッター本体を手で回して振れや異音が無いか点検して下さい。振れや異音は回転中の異常な振動や、刈払機との取付けの緩みなどの原因となり危険です。



【毎作業中の注意事項】

- ▲カッター本体の回転により小石や硬質異物（コンクリート・木の株・ビンなど）の破片が飛散したり、カッター本体を硬質異物にぶつかることで破損・分解してその破片が飛散しあなた及びあなたの周囲の人に負傷及び損害を与える危険性がありますので、警告します。



- ①各種飛散物から人や物品を守るために・・・
●周囲の物品や状況に充分注意して、半径15m以内に人がいないことを確認して使用してください。
- ②本製品の早期摩耗・破損・分解・飛散を防ぐために・・・
●カッター本体を毎分10,000回転以上で回さないで下さい。
- カッター本体を石・コンクリート・木の株・ビンなどの硬質異物にぶつけないで下さい。
- 異常な振動や異音が出た場合、直ちにエンジンを停止点検して下さい。そのまま使用すると危険です、必ず修理してからお使い下さい。
- ③身を守るために・・・
●懸かいた草やツルを取り除く時、またナイロンコードの取換えや巻き直し、その他点検の際は必ず刈払機のエンジンを止め、カッター本体の回転が停止したのを確認してから行って下さい。



安心品質をかたちに
三陽金属株式会社

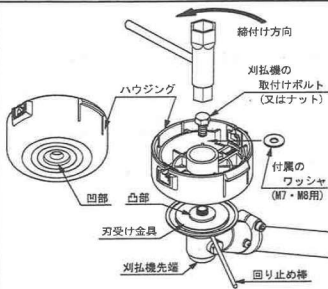
〒673-0456
兵庫県三木市鳥町301-1
本社 TEL. 0794-82-0188(代)

1. 取付け方法

- ①「3. ナイロンコードの取換え方法」の【1】
 ②を参照しカバーを外し、ボビンを取り出す。
 ③ハウジング中央の凹部を対払機の刃受け金具の凸部に正しくはめてセットする。
 ④対払機の刃受け金具の回り止めをして、対払機の刃受け付ボルト（又はナット）を確実に締付ける。
 M7とM8のボルト（又はナット）で六角部分の小さい物は、付属のワッシャを併用ください。
 ⑤「3. ナイロンコードの取換え方法」の【6】
 【7】・【8】を参照し、ボビンとカバーをハウジングに組み付ける。

＜△注意＞

- 取付ボルト（又はナット）は対払機の純正部品を使用します。
 ●締付け後、カッター本体を手で回して振れや異音が無いか点検して下さい。



2. 使用方法

★本製品は、草刈作業中にコードが短くなると自動的に繰出し、「全自動繰出し式」のコードカッターです。
 お手持の対払機の性能(パワーや回転数)に合ったコード長さに自動で調整され、コードの過過ぎを防ぎます。

1. 作業は先端部回転数を6,000r.p.m.以上で行ってください。前方のコード先端部で刈ると効率よく作業できます。
 2. 万一、自動繰出しされない場合は、一度エンジン回転を充分に下げ(アイドリング状態)、再度回転を上げれば(フルスロットル)、自動繰出しが行われます。



※低回転では「コードの張り」が弱いため草刈効率が悪くなります。



コードが極端に短くなって「2.」の操作を行っても繰りだしされない場合は、コードを使い切ったか、コードの絡み・溶着が考えられます。エンジンを停止し、「3. ナイロンコードの取換え方法」に従い、コードを巻き直して下さい。

3. ナイロンコードの取換え方法

＜△注意＞●必ず対払機のエンジンを止め、カッター本体の回転が停止した後、行って下さい。

- 【1】ハウジングの保持爪(2ヶ所)を押し込んでカバーを外す。



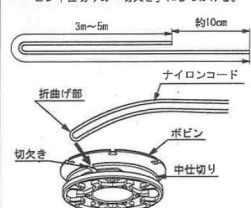
※1ヶ所ずつ行うと外しやすい。

- 【2】ハウジングからボビンを取り出す。

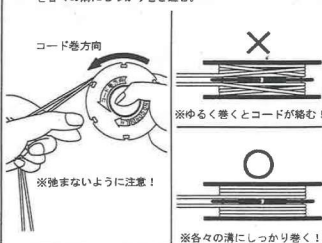


- a. ボビンにコードがほぼ無くなっていれば、残っているコードを外し【3】以下の手順で「新しいコード」を巻く。
 b. ボビンのコードが「融着」している時は、「融着」をはがしながらコードを全部取り外して、改めて【3】以下の手順で「取り外したコード」を巻く。

- 【3】コードの両端を約10cmずらして折曲げて、ボビン中仕切りの「切欠き」にひっかける。



- 【4】ボビンの「コード巻方向」に従って、コードを各々の溝にしっかりと巻き込む。

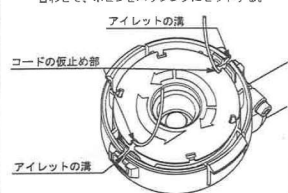


- 【5】巻き終ったコードの端を10cm程度残して、ボビンの「コードクリップ」に止める。
 また、コードクリップは向い合う2ヶ所を使用する
 と後の作業が行いやすい。



※この時、コードがゆるまないように注意!

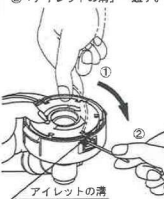
- 【6】「コードの仮止め部」を「アイレットの溝」に合わせて、ボビンをハウジングにセットする。



※この時、スライドブロックの凸部にボビンが乗り上げボビンがハウジングから浮かないように注意する。

- 【7】コードをハウジングの外へ出す。

- ①コードをコードクリップから外し、
 ②「アイレットの溝」へ通す。



- 【8】カバーをハウジングにはめる。

- ①カバーの「目印溝」とハウジングの「アイレットの溝」をあわせ、

- ②ハウジングの「保持爪」がカバーの「窓」にしっかりと入り込むまで押し込む。



＜△注意＞ハウジングの保持爪の外面縁が、カバーの窓の外面縁までほぼいっばいに当たっていることを確認して下さい。入り込みが不十分のままカッター本体を回転させると、カバーや中の部品が飛散し危険です。